題先防鑄剤

タセト シルバー TASETO SILVER

(開先防錆剤)

(Groove Face Anticorrosive Agent)

溶接開先部の錆の発生は、溶接作業の合理化・省力化のみでなく品質管理の面でも大きな障害となっております。これらの錆を開先加工から溶接施工までの期間、防止するのがタセトシルバーです。

特 徴

- 1. 溶接の際、塗膜除去の必要がなく、そのまま溶接できます。
- 2. 防錆力は屋外暴露3ヶ月、屋内6ヶ月以上を有しています。
- 3. ほとんどの塗料の塗り重ねが可能です。 (シルバーSは除きます)
- 4. スパッタ付着防止剤としても抜群の効果を有しています。
- 5. 日本海事協会 (NK)、及びロイド船級協会 (Lloyd's Register of Shipping) の承認を得ています。



種類・性状

種類	塗膜状態	適性塗膜厚	乾燥時間	塗布面積	特 徴
シルバー	銀灰色	7~20(μm)	5分	10∼20 (㎡/ℓ)	・一般鋼材用の開先防錆剤で、NK、 ロイド船級協会の承認品です。 ・優れた防錆効果を有しています。
シルバーS	銀白色	5~15(μm)	3分	10~20 (㎡/ℓ)	・塗膜が銀白色の強い開先防錆剤です。
シルバーJ	銀灰色	7~20(μm)	5分	10~20 (㎡/ℓ)	・塗膜が銀灰色で、特化則非該当タイプ の開先防錆剤です。
シルバーA	黄色透明	7~20(μm)	5分	10~20 (㎡/ℓ)	・塗膜が透明タイプの開先防錆剤です。
シルバーA2	黄色透明	5~15(μm)	3分	10~20 (㎡/ℓ)	・塗膜が透明でシルバーAより速乾性 タイプです。

ご使用方法

- 1. 塗布にあたっては母材の油、油脂類、錆等の付着物をきれいに除去してください。
- 2. シルバー、シルバーSは、アルミ顔料が入っていますのでご使用直前に缶を充分に振って(缶に入れてあるビー玉が鳴るまで)からご使用ください。
- 3. 塗膜厚は防錆期間、周囲の条件に応じ7~20 µmの範囲でご使用ください。
- 4. スプレーガンを使用して塗布する時の洗浄及び希釈剤はタセトシルバーシンナーをご使用ください。

〈使用上の注意〉

- 1. 適性塗膜厚でご使用ください。
- 2. 防錆期間が屋外で 1ヶ月以上の場合は、2~3回重ね塗りをしてください。
- 3. 特別な施工の溶接及び特別な塗料の重ね塗りの場合は、事前に試験を行うかご相談ください。
- 4. タセトシルバーの入った容器を開缶のまま放置すると、溶剤が蒸発しますので使用後は必ず密栓してください。溶剤の蒸発により粘度が高くなった場合は、タセトシルバーシンナーで適正濃度に希釈してください。

試験結果

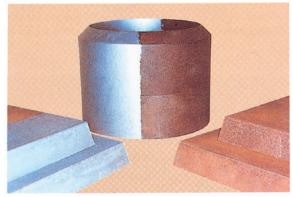
◆防錆試験

〈タセトシルバーの性能試験の一例〉

	試 験 条 件	塗回 布数	10日 20日 1ヵ月	防	錆 3ヵ月	期 ^{4ヵ月}	間 5ヵ月	6ヵ月	1	ı
耐湿試験	温度 30℃ 湿度 100%	1回 3回 1			>		>			
暴露	屋内暴露	1回 3回 1								
試験	屋外暴露 (川崎臨海工業地帯)	1回 3回 1			<u> </u>	<u> </u>				

※塗布はハケ塗りで実施

(1回塗り、塗膜厚約7 um)

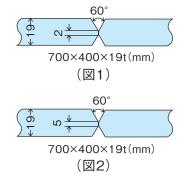


全く発錆せず	
点錆発生	

◆溶接性能試験

材料および溶接条件

方法 条件	アーク溶接	炭酸ガス溶接	潜孤溶接							
母 材	SS400	SS400	SS400							
開先形状	図1	図1	図2							
溶接材料	D4301 4.0φ	YGW-11 1.6φ	YS-S3 4.0φ							
フラックス	_	_	FS-FG1							
電流(Amp)	160~180	220~250	650~700							



溶接試験結果

試験条件			アーク溶接		炭酸ガス溶接		潜孤溶接				
試験項目			塗 布	無塗布	塗 布	無塗布	塗 布	無塗布			
試引験張	引	張	強	さ	(MPa)	485.4	484.4	486.4	488.4	487.4	487.4
験張	破	进	折	箇	所	母材	母材	母材	母材	母材	母材
試曲験げ	自	E	b	曲	げ	良	良	良	良	良	良
験げ	側	側曲		げ	良	良	良	良	良	良	
衝	撃	Ī	試	験	(22℃ J)	76.5	73.5	101.0	103.0	98.1	101.0
放	射	線	透	過	試 験	合格	合格	合格	合格	合格	合格

安全面での注意事項

- 1. 有機溶剤中毒予防規則等に基づいた管理が必要です。
 - (1) 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
 - (2) 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。
 - (3) 取扱い中はできるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じ防毒マスク、又は送気マスク、保護手袋等を着用してください。
 - (4) 取扱い後は、手洗いを十分行ってください。
 - (5) 一定の場所を定めて貯蔵してください。
- 2. 可燃性の製品のため、火気には充分ご注意願います。
- エアゾール品の場合は、40℃以上となる場合には保存しないでください。また、使用済みのエアゾ ール缶は、底部を開孔の上廃棄願います。
- 4. 安全管理については、製品に記載の注意事項を守るとともに安全データシート(SDS)を参考にし てください。

○関連法規一覧表

種類	有機溶剤中毒予防規則	毒物、劇物取締法	特定化学物質	消防法危険物
シ ル バ ー	第2種有機溶剤	該当せず	第2類物質	第4類第1石油類
シルバーS	"	"	第2類物質	11
シルバーJ	"	"	該当せず	"
シルバーA	"	"	第2類物質	"
シルバーA2	"	"	第2類物質	"

株式会社

■本 社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-15

TEL:045-624-8913 FAX:045-624-8916

■札幌支店 TEL:011-281-0911 ■名古屋支店 TEL: 052-746-3737 FAX: 011-281-0912 FAX: 052-746-3738

TEL: 022-290-3603 TEL: 06-6190-1911 ■東北支店 ■大 阪 支 店 FAX: 022-290-3604 FAX: 06-6190-1922

TEL: 086-455-6161 TEL: 045-624 8952 ■東 京 支 店 ■岡山支店 FAX: 045-624-8953 FAX: 086-455-3176

TEL: 048-682-2626 TEL: 082-962-2730 ■関東支店 ■広島支店

FAX: 048-687-6600 FAX: 082-962-2750

TEL: 092-291-0026 ■京 葉 支 店 TEL: 043-284-8721 ■福 岡 支 店 FAX: 092-291-4613 FAX: 043-284-8723

取扱店